

分会情報

J R 東海 労 大 阪 仕 業 検 査 車 両 所 分 会
No. 8 2 2 0 1 3 . 1 2 . 1 1
発行責任者 柿本 克彦
編集責任者 教 宣 部

「大仕両所における検修車激突事故」の業務委員会、開催！！

12月6日「大仕両所における検修車激突事故に関する緊急申し入れ」について業務委員会が開催されました。

これは、10月28日、大阪仕業検査車両所の構内、庫5番線で検修車（通称ネコ車）がレールを支える柱（通称ロウソク）に工事中の枠組みがあったため、激突するという事故が発生した問題に関して開催されたものです。

この事故の原因はこんな危険な工事をしていたのに、全く現場担当者に連絡がないということです。工事の施工業者も「検修車がここを通るとは知らなかった」と言っています。

当該社員にも問題がある？！

幸い検修車に乗っていた社員にはケガもなく大事には至りませんでした。が、一歩間違えれば大惨事になっていた事故にもかかわらず、謝罪するどころか会社は「(社員にも)いろいろと問題があったという認識だ」「異常だと認識したら直ちに報告」「ぶつかって木枠が落ち、検修車のライトが壊れた」などと言っているのです。

社員の心配より、検修車が壊れたのは報告しなかったことが問題だと言っているのです。

現場の管理者から報告がない?! 報連相はどうなっているの??

事故の前日（27日）に検修車が木枠にぶつかったと社員が助役に報告しているのです。しかし、会社は「現場はどうかかわからないが支社は報告を受けていない」と答えているのです。これでは助役が支社に「どんな報告をしたのか」確認する必要があります。しかも工事の施工業者に対しても「報連相が十分でなかった」と認識はあるものの、事前の安全確認は「責任施工である」と言っています。しかし、「そんなことで事故があったら誰が責任を取るのか」の問いには、答えられずにいます。

まさに会社は言っていることとやっていることがまったく違うということです。

みなさん！！会社は都合の悪いことはすべて隠し、何か問題が起これば社員に責任を押し付けようとしています。私達はちゃんと監視し、安全で働きやすい職場にするため頑張っていきます！！